



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月28日

上場会社名 アイエクス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

上場取引所 東

(氏名) 安藤 文男
 (氏名) 中谷 彰宏

TEL 03-6400-7000

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,744	0.3	339	18.5	360	18.5	222	25.7
2019年3月期第2四半期	8,715	7.0	417	78.3	442	67.2	299	69.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	22.35	
2019年3月期第2四半期	29.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,283	4,675	50.4
2019年3月期	9,744	4,651	47.7

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 4,675百万円 2019年3月期 4,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当10円00銭(誕生20周年記念配当)

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,014	1.4	840	2.0	879	0.0	591	0.9	59.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	11,200,000 株	2019年3月期	11,200,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,238,969 株	2019年3月期	1,238,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,961,223 株	2019年3月期2Q	10,076,679 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

※ 当社は、以下のとおりに投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2019年11月21日(木)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の属する情報サービス産業市場は、企業の人手不足や働き方改革への取り組みを背景とした生産性向上のためのIT投資や、デジタル化による競争力強化を目的とした戦略的IT投資が堅調に推移していくことが見込まれています。一方で、それらIT需要に対応するための技術者の確保が重要な課題となっております。

このような市場環境のもと、当社は、「中核事業の拡大」「事業基盤の強化」「次期成長事業の創出」を中期経営方針として、3ヶ年の中期経営計画を策定し、営業体制強化、開発体制整備、案件対応力強化、DXやブロックチェーン技術等のデジタル化対応に取り組んできております。

また、注力事業である第三者検証サービスの拡販、自動車産業における車載組込みシステム開発分野の拡大、新規事業の創出を目指したブロックチェーン技術に関する顧客との共同研究などを推進しております。

当第2四半期累計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、大手通信事業者向けのシステム検証案件や車載組込みシステム開発案件が堅調に推移し、資産運用系金融機関や化粧品会社向けのシステム開発案件などの受注が拡大しました。一方で、大手金融機関や重工業メーカーにおける案件の収束、開発から運用フェーズに移行した案件もあり、前年同期と比べて売上高は減少いたしました。また、システムマネジメントサービスにおいては、運用設計や基盤構築案件の受注が拡大するなど売上高は増加いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、8,744百万円（前年同期比0.3%増）となりました。一方、利益面では、事業の選択と集中や業務改善を進めるなど事業基盤の強化に取り組んでまいりましたが、当社誕生20周年対応などに伴う営業活動や次期成長事業創出に向けた技術者教育の為の費用増加等により、営業利益339百万円（同18.5%減）、経常利益360百万円（同18.5%減）、四半期純利益222百万円（同25.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は9,283百万円となり、前事業年度末に比べ460百万円減少しました。これは主に「有価証券」の減少200百万円、「受取手形及び売掛金」の減少116百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は4,608百万円となり、前事業年度末に比べ484百万円減少しました。これは主に「未払金」の減少159百万円、「その他」に含まれる「預り金」の減少78百万円、「買掛金」の減少69百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は4,675百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加23百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の47.7%から50.4%となっております。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ209百万円(5.5%)減少し、当第2四半期累計期間末には3,594百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は47百万円(対前年同四半期比74.3%減)となりました。

これは主に収入では税引前四半期純利益の計上329百万円、支出では法人税等の支払165百万円、未払金の減少160百万円、売上債権の減少116百万円を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は39百万円(対前年同四半期比60.4%減)となりました。

これは主に収入では投資事業組合からの分配による収入1百万円であり、支出では固定資産の取得による支出35百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は216百万円(対前年同四半期比23.4%減)となりました。

これは主に配当金の支払額196百万円、長期借入金の返済による支出20百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績および現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね2019年4月26日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,655,130	3,644,654
受取手形及び売掛金	2,607,477	2,490,974
有価証券	200,000	-
商品及び製品	485	3,400
仕掛品	314,616	228,890
その他	201,885	156,753
流動資産合計	6,979,595	6,524,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,046	93,969
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	22,636	20,695
土地	116,992	116,992
有形固定資産合計	226,675	231,657
無形固定資産		
ソフトウェア	18,896	34,780
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	27,586	43,470
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256,231	1,230,335
繰延税金資産	958,936	958,330
その他	295,291	295,405
投資その他の資産合計	2,510,459	2,484,072
固定資産合計	2,764,722	2,759,199
資産合計	9,744,317	9,283,872

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	610,667	540,756
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	384,165	224,234
未払法人税等	214,567	152,812
賞与引当金	990,698	947,121
受注損失引当金	28,074	463
その他	331,632	208,524
流動負債合計	2,599,806	2,113,912
固定負債		
長期借入金	110,000	90,000
退職給付引当金	2,283,696	2,305,046
資産除去債務	63,596	63,260
長期末払金	36,200	36,200
固定負債合計	2,493,492	2,494,506
負債合計	5,093,299	4,608,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,291,045	1,291,045
利益剰余金	2,452,501	2,475,901
自己株式	△479,567	△479,905
株主資本合計	4,444,877	4,467,939
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,141	207,514
評価・換算差額等合計	206,141	207,514
純資産合計	4,651,018	4,675,453
負債純資産合計	9,744,317	9,283,872

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,715,823	8,744,814
売上原価	7,150,118	7,106,143
売上総利益	1,565,704	1,638,670
販売費及び一般管理費	1,148,435	1,298,785
営業利益	417,269	339,885
営業外収益		
受取利息	99	1,927
受取配当金	21,515	15,519
投資事業組合運用益	1,335	1,028
その他	3,851	3,889
営業外収益合計	26,802	22,363
営業外費用		
支払利息	905	365
支払手数料	1,115	-
為替差損	-	1,411
その他	29	93
営業外費用合計	2,050	1,870
経常利益	442,022	360,378
特別利益		
固定資産売却益	-	2
会員権売却益	460	-
特別利益合計	460	2
特別損失		
固定資産廃棄損	0	127
投資有価証券評価損	-	30,335
特別損失合計	0	30,463
税引前四半期純利益	442,482	329,917
法人税等	142,903	107,288
四半期純利益	299,579	222,628

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	442,482	329,917
減価償却費	17,549	16,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,805	21,349
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,734	△43,577
受注損失引当金の増減額(△は減少)	538	△27,611
受取利息及び受取配当金	△21,615	△17,446
支払利息	905	365
為替差損益(△は益)	-	1,411
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,335	△1,028
会員権売却損益(△は益)	△460	-
固定資産廃棄損	0	127
固定資産売却損益(△は益)	-	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	-	30,335
売上債権の増減額(△は増加)	24,740	116,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,226	82,810
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,718	△69,911
未払金の増減額(△は減少)	△79,722	△160,138
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,664	△24,705
その他の資産・負債の増減額	29,863	△59,303
小計	334,207	195,827
利息及び配当金の受取額	21,615	17,439
利息の支払額	△905	△365
法人税等の支払額	△170,754	△165,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,162	47,410
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△146
有価証券の取得による支出	△105,876	△3,657
有価証券の売却による収入	490	656
固定資産の取得による支出	△7,244	△35,169
資産除去債務の履行による支出	-	△2,890
投資事業組合からの分配による収入	12,039	1,570
その他	131	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,460	△39,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△130,818	△337
リース債務の返済による支出	△1,131	-
配当金の支払額	△101,016	△196,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,966	△216,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199,264	△209,211
現金及び現金同等物の期首残高	4,066,263	3,804,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,866,998	3,594,880

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。